

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1,277 号	氏名	福岡 秀敏
論文審査担当者		主査教授	中込 治
		副査教授	松山 俊文
		副査教授	兼松 隆之
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、まだ真の原因が解明されていない乳がんと発がん性レトロウイルス感染という議論のある問題に取り組んだものであり、その目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>MMTV ゲノムをもつプラスミドを陽性コントロールとして、10 コピーの MMTV env 遺伝子を検出できる実験系を確立し、外科的に切除した乳がんの臨床材料から MMTV ゲノムの検出を試みた研究手法は適切である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>乳がん組織 46 例と良性乳腺腫瘍 3 例について検討をおこなったが、全例で MMTV env 遺伝子は検出不能であった。また、過去の報告で MMTV env 遺伝子陽性とされた MCF-7 細胞からも MMTV env 遺伝子の検出は出来なかった。本研究の結果、乳がん細胞自体には MMTV env 遺伝子が含まれていない可能性が高く、ヒト乳がんのウイルス発がんは完全に否定はできないものの、少なくとも日本人に関しては大きな原因とは考えられないと結論している。十分妥当な結論であると判断される。</p>			